

別紙2 機能要件一覧

機能要件								
項番	業務	機能項目	要件	回答				
				必須	対応可	対応不可	代替方法	備考
1	ソフトウェア要件	OS	導入するサーバについては、WindowsServer2022以上とし、導入後5年間のメーカーサポートが継続できること。	○				
2	ユーザー要件	同時接続数	インターネット系仮想基盤環境への同時接続数は、600名以上とする。	○				
3	ユーザー要件	認証	ActiveDirectoryで管理されているユーザー名・パスワード認証が可能なこと。	○				
4	アプリケーション要件	公開デスクトップサーバ	構築する仮想基盤環境は、SBC方式であること。	○				
5	アプリケーション要件	公開デスクトップサーバ	ユーザーは、シンクライアント端末を通して、Windowsデスクトップ環境へ接続できること。					
6	アプリケーション要件	公開デスクトップサーバ	アプリケーション等を公開デスクトップサーバで一元管理できること。					
7	アプリケーション要件	公開デスクトップサーバ	シンクライアントと仮想基盤環境の通信は、画面転送と操作情報だけとすること。	○				
8	アプリケーション要件	公開デスクトップサーバ	公開デスクトップサーバに既存のプリンタ等のドライバーをインストールし、ユーザーがプリンタ等を使用できるようにすること。	○				
9	アプリケーション要件	公開デスクトップサーバ	インターネット系仮想基盤環境へ仮想のアプリケーションを提供する際の通信は画面転送と操作情報およびプリンタ情報だけとすること。	○				
10	アプリケーション要件	公開デスクトップサーバ	インターネット系仮想基盤環境に接続しているユーザーが、一定時間操作をしなかった場合に、自動ログオフできる機能を有すること。					
11	アプリケーション要件	公開デスクトップサーバ	仮想基盤への接続までにかかる時間は、プロファイルの読み込み等を含めて、30秒以内を目標とすること。					
12	アプリケーション要件	公開デスクトップサーバ	インターネット系仮想基盤環境への接続については、サーバのCPU利用率やメモリ利用率を考慮して、接続するサーバを割り当てること。(ロードバランス)	○				
13	アプリケーション要件	公開デスクトップサーバ	インターネット系仮想基盤環境へ接続するクライアントは、ノート型およびデスクトップ型に対応すること。					
14	アプリケーション要件	公開デスクトップサーバ	クライアントがネットワークから切断し、通信ができなくなった場合でも、仮想基盤環境の画面は一定時間セッションを保持し、再接続時に同じセッションを提供することができること。					
15	アプリケーション要件	公開デスクトップサーバ	仮想デスクトップ環境は、グループ化し複数用意することができ、かつ、配信できること。	○				
16	アプリケーション要件	デリバリーコントローラー	ユーザーが仮想デスクトップやアプリケーションを要求した時は、適切なリソースを割り当てること。	○				
17	アプリケーション要件	デリバリーコントローラー	ID及びパスワードによりユーザー認証を行い、適切なアクセス制御を提供すること。	○				
18	アプリケーション要件	デリバリーコントローラー	ポリシーをユーザーごと・グループごとに決めることができること。	○				
19	アプリケーション要件	デリバリーコントローラー	仮想基盤環境へは、学校以外の場所からでもインターネットを通じて接続することができること。	○				
20	アプリケーション要件	デリバリーコントローラー	ユーザーのアクセス状況を監視し、不正アクセスを検知できること。	○				
21	アプリケーション要件	デリバリーコントローラー	ユーザーが仮想基盤環境へ接続したログを記録できること。	○				
22	アプリケーション要件	起動イメージ配信サーバ	プリンタのドライバーやそのほかサーバの設定情報を配信する際に、マスターサーバからイメージ配信で全体に配付できること。	○				
23	アプリケーション要件	起動イメージ配信サーバ	クライアントは、ローカルのストレージではなく、サーバ上のvDISKなどにデータ残す若しくは類似する機能で、クライアントにデータを残さないような構成とすること。	○				
24	アプリケーション要件	起動イメージ配信サーバ	起動に必要なブートローダーやネットワークドライバを提供する機能を有すること。	○				
25	アプリケーション要件	起動イメージ配信サーバ	仮想サーバはPVSやリンククローンのようにマスタイメージを共有する機能をもつこと。	○				

別紙2 機能要件一覧

機能要件								
項番	業務	機能項目	要件	回答				
				必須	対応可	対応不可	代替方法	備考
26	アプリケーション要件	起動イメージ配信サーバ	マスタイメージ更新の際、起動中の仮想環境への影響を最小限にとどめる機能を持つこと。					
27	アプリケーション要件	起動イメージ配信サーバ	マスタイメージのアップデート等の変更処理の反映が4時間以内に完了すること					
28	アプリケーション要件	ログイン画面サーバ	ユーザーが仮想デスクトップやアプリケーションにアクセスするためのポータルサイト(一覧として表示できる)を提供する機能を有すること。	○				
29	アプリケーション要件	ログイン画面サーバ	ドメインコントローラーと連携して、ユーザー認証を実施できること。	○				
30	アプリケーション要件	ログイン画面サーバ	ユーザーの所属情報や役職等に応じたリソースのみを表示できる機能を有すること。	○				
31	アプリケーション要件	RDS Linsenceサーバ	仮想基盤環境を構成するWindowsサーバがある場合には、リモートデスクトップサービスを利用するために必要なライセンスを一括で管理・提供するサーバを用意すること。	○				
32	アプリケーション要件	RDS Linsenceサーバ	ドメインコントローラーと連携し、ユーザーごとにライセンスを発行できること。					
33	アプリケーション要件	RDS Linsenceサーバ	ユーザーが複数のクライアントから接続した場合に、1つのCALを消費できるようにすること。					
34	アプリケーション要件	RDS Linsenceサーバ	使用中のRDS CALの数を確認できること。					
35	アプリケーション要件	RDS Linsenceサーバ	期限付きライセンスの有効期限を管理できること。					
36	アプリケーション要件	ドメインコントローラー	ユーザーのアカウントを管理(追加・変更・削除)できること。	○				
37	アプリケーション要件	ドメインコントローラー	組織ごともしくは任意の設定でグループを設定し、管理できること。	○				
38	アプリケーション要件	ドメインコントローラー	ドメインに参加しているクライアントを制御できること。					
39	アプリケーション要件	ドメインコントローラー	パスワードポリシーやログインスクリプト設定などセキュリティポリシーの適用・管理ができること。	○				
40	アプリケーション要件	ドメインコントローラー	ドメインコントローラーで設定したグループ毎に異なるグループポリシーを適用できること。	○				
41	アプリケーション要件	ドメインコントローラー	グループポリシーとして、セキュリティ設定を適用できること。(パスワード要件・スクリーンロックの設定など)	○				
42	アプリケーション要件	ドメインコントローラー	グループポリシーとして、特定のソフトウェアを配布できること。					
43	アプリケーション要件	ドメインコントローラー	グループポリシーとして、ログオン及びログオフスクリプトを適用できること。	○				
44	アプリケーション要件	ドメインコントローラー	グループポリシーとして、グループごとにファイルサーバのアクセス権限を設定できること。	○				
45	アプリケーション要件	ドメインコントローラー	グループポリシーとして、任意のプリンタ権限を設定できること。	○				
46	アプリケーション要件	ドメインコントローラー	ドメインコントローラーの認証を利用し、ファイルサーバ等の他のシステムへ追加認証でアクセス可能な構成とすること。	○				
47	アプリケーション要件	ドメインコントローラー	DNS機能を有すること。	○				
48	アプリケーション要件	ドメインコントローラー	他のシステムとディレクトリ情報を連携するLDAP機能を有すること。	○				
49	アプリケーション要件	ドメインコントローラー	正副2台以上のドメインコントローラー間のデータベースを同期できること。	○				
50	アプリケーション要件	プロファイルサーバ	ユーザーごとに、デスクトップ情報、デスクトップの壁紙、フォルダ構成、ブラウザの設定、アプリケーションのカスタマイズ設定等のプロファイルを管理できること。	○				
51	アプリケーション要件	プロファイルサーバ	ユーザーごとのプロファイルをサーバで管理することで、ユーザーがどのクライアントからログインした場合にも、同じ設定を呼び出すことができること。	○				

別紙2 機能要件一覧

機能要件								
項番	業務	機能項目	要件	回答				
				必須	対応可	対応不可	代替方法	備考
52	アプリケーション要件	プロファイルサーバ	ユーザーが仮想基盤環境へログインする際に、プロファイルサーバからプロファイルの情報を取得し、適用すること。					
53	アプリケーション要件	プロファイルサーバ	ログオフ時に、変更された設定をプロファイルサーバに保存すること。					
54	アプリケーション要件	プロファイルサーバ	障害発生時に、プロファイルを復元できること。					
55	アプリケーション要件	プロファイルサーバ	ドメインコントローラーのグループポリシーと連携し、プロファイルの適用範囲を制御できること。					
56	アプリケーション要件	プロファイルサーバ	不要なキャッシュやログを削除し、プロファイルサイズの最適化を図ること。					
57	アプリケーション要件	プロキシサーバ	ユーザーがインターネットに接続する際に、プロキシサーバを経由する構成とすること。	○				
58	アプリケーション要件	プロキシサーバ	ユーザーがWebサイトを閲覧する際のフィルタリング機能を有すること。	○				
59	アプリケーション要件	プロキシサーバ	Webサイトのデータを保持するキャッシュ機能を有すること。					
60	アプリケーション要件	プロキシサーバ	ユーザーがアクセスしたWebサイトのアクセスログを記録できること。	○				
61	アプリケーション要件	Proxy PACサーバ	PACファイルを参照し、自動で適切なプロキシサーバを選択できること。					
62	アプリケーション要件	ウイルス対策ソフト管理サーバ	ウイルス対策ソフトをサーバで一元管理できること。	○				
63	アプリケーション要件	ウイルス対策ソフト管理サーバ	任意のタイミングで、ウイルス対策ソフトのポリシーを適用できること。	○				
64	アプリケーション要件	ウイルス対策ソフト管理サーバ	管理サーバがインターネット経由で最新のパッチファイルや定義を取得すること。	○				
65	アプリケーション要件	SKYSEA管理サーバ	IT資産管理ソフト「SKYSEA」をサーバ上で一元管理できること。	○				
66	アプリケーション要件	バックアップサーバ	マスタ情報以外に仮想デスクトップ上で生じたデータについては、差分データとして別ディスクに格納することができること。					
67	アプリケーション要件	バックアップサーバ	データベース、ファイル単位など、様々なレベルでのバックアップが可能であること。					
68	アプリケーション要件	バックアップサーバ	必要に応じて、フルバックアップ・差分バックアップ・増分バックアップ・スナップショットを選択できること。					
69	アプリケーション要件	バックアップサーバ	任意のタイミングで、バックアップ可能であること。					
70	アプリケーション要件	バックアップサーバ	リストアすることで、障害発生時に迅速に対応できること。					
71	アプリケーション要件	WSUS	WSUSを利用しWindowsのアップデートを定期的に利用できるようにすること。	○				
72	アプリケーション要件	ファイルサーバ	ファイルサーバは各ネットワーク上(学校シンクラ系、学校ネットワーク系)へ配置すること	○				
73	アプリケーション要件	ファイルサーバ	新規ファイルサーバに関してはクォータ(ディスク使用量の制限)を設定できること。	○				
74	アプリケーション要件	セキュリティ	通信の転送プロトコルは暗号化していること。	○				